

納品合計枚数1000枚達成！ 只見中新聞紙レジ袋でプラレジ袋削減



▲新聞紙レジ袋とねっか袋を納品する酒井さん(左)と受け取る吉津年浩さん(右)

8月24日、只見中学校3年生酒井怜斗さんからヤマザキショップ松屋に、新聞紙レジ袋が納品され、町内商店等への合計納品枚数が1000枚となりました。合わせて、使用済みの米袋から作成された「ねっか袋」も納品されました。このねっか袋は、「お酒を入れても破れなさそうな丈夫な袋が欲しい」との声に応えるために新たに作成したものです。

袋を受け取った吉津さんは、「子どもたちの取組が、町だけでなく地域に広がって、川のようにたくさん市の町村に届いて行ってほしい」と話されました。

只見の生きものを学ぶ 「只見の自然環境学習会」

8月24日、新国勇さんを講師に朝日小学校1～3年生へ「只見の自然環境学習会」が開かれました。

学習会は、只見町にはどんな生きものが生息しているのか、その生きものがどのような特徴をもっているのかをクイズ形式で学びました。

新国さんは、「家の周りでも見ることができる。足跡など、『なんだべなー』と興味を持って気にしながら見るといろんなものが見えてくる。ぜひ気にしながら見てください。」と話されました。



▲実際に毛皮に触れる児童たち

自然の中でコミュニケーション 町内小学校合同宿泊学習が行われました！



▲班の人を信頼して自然を歩く電車ごっこの様子

9月8、9日、奥会津ただみの森キャンプ場で、町内3小学校合同の宿泊体験学習が行われました。

活動は、3校混合で分けられた班で行い、自然の中に隠された人工物探しや、先頭の人以外は目をつむる電車ごっこで班の信頼関係を高めました。夕食は、野外炊飯でカレーライスを作りました。児童達は、「すごくおいしい」、「ごはんが上手に炊けてよかった」と感想を話してくれました。

2日目のスコアオリエンテーリング後、余った時間の活動を児童で相談しながら決める姿も見られ、大きく成長した2日間でした。

コロナに負けるな 只見ソフトボール交流大会開催



▲仲間とのプレーを楽しむ参加者たち

8月30日、只見町壮年ソフトボール交流大会が町下広場グラウンドで開催されました。

コロナ禍でもできることを実施し、スポーツの推進やスポーツを通じた交流を図っていきたいという思いから、各地区のソフトボール協会のご協力をいただきながら感染症対策を十分に行った上での実施となりました。当初、不安の声もありましたが、参加者の笑顔からは、ソフトボールができる喜びや仲間とプレーする楽しさを感じ取ることができました。

百歳賀寿おめでとうございます！ 知事賀寿を贈呈

9月14日、布沢地区の梁取藤吉さんが満百歳の誕生日を迎え、知事賀寿贈呈が南会津町の介護老人保健施設「湯花里苑」で行われました。

長寿の秘訣は、「お米(ご飯)が大好きで、食事を3食しっかり食べること。若い頃に農業で足腰を鍛えたこと。特に水稻栽培が楽しかった。」と話してくれました。他にも、家族が買ってきてくれる栄養ドリンクが好きで、いつも楽しみにしているとのこと。

これからも3食しっかり食べて長生きしてください。



▲賀寿を迎えた梁取藤吉さん(布沢)

稲刈をしました！ 明和小学校手刈り体験

9月29日、明和小学校5年生が梁取地区の松井さんの水田で手刈り体験をしました。

児童は、農家のみなさんから、手刈りの仕方や稲の干し方を教わり、友達と競うように元気よく刈取りをしました。後半は、バインダーが稲を刈りながら束にしていくのを見学し、驚いたり感動したりしていました。

最後には、コンバインの乗車体験を行い、楽しみながらの稲刈り体験となりました。



▲稲刈り体験を楽しんだ明和小学校5年生